



2023年6月20日

各 位

上場会社名
本社所在地
代表者名

上 新 電 機 株 式 会 社
大阪市浪速区日本橋西1-6-5
代表取締役兼社長執行役員 金谷 隆平
(コード:8173)

お問い合わせ先

取締役兼常務執行役員 田中 幸治
経営企画・人財戦略担当
(TEL) 06-6631-1221

弊社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

弊社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すコーポレートガバナンス強化の一環として、各事業年度毎に取締役会全体の実効性等の分析・評価を行い、その改善に向けた継続的な施策推進に取り組んでおります。

この度、2022年度(2023年3月期)について取締役会の実効性評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1) 評価のプロセス

取締役会の任意の諮問機関として、社外取締役と監査役により構成する「取締役会評価委員会」を設置し、同委員会が主体となって取締役会の実効性に関する調査を実施しました。その集計結果をもとに、取締役会において取締役会の実効性等の分析及び評価を行い、改善に向けた施策を決定いたしました。

2) 評価の方法

①アンケート調査の実施

取締役会メンバーである取締役、監査役を対象として、以下の評価カテゴリー毎に複数の項目からなるアンケート用紙を配布し、回答を得ました。

対象者	取締役、監査役
回答方式	無記名方式
評価のカテゴリー	1.取締役会の構成(員数、多様性) 2.取締役(会)の役割・責務 3.取締役(会)の資質・知見・スキル 4.取締役会の運営・審議 5.取締役会の監督(指名・報酬・後継者育成等) 6.取締役の適切なリスクテイクを支援する体制 7.社外取締役の役割・期待と支援体制 8.役員間並びに社外取締役と業務執行取締役のコミュニケーション 9.2022年度の課題とされた事項の改善状況
結果の集計	アンケートの結果は社外取締役、社外監査役が集計し、取締役会において実効性等の分析及び評価に活用しました。

②取締役インタビューの実施

アンケートの集計結果をもとに、社外取締役と社外監査役が業務執行取締役を対象として取締役会の実効性に関するインタビューを実施いたしました。

③取締役会での議論と改善に向けた取り組みの決定

アンケートの集計結果、取締役インタビューの結果を取締役会評価委員会でとりまとめ、取締役会の運営について実効性が高いと評価される点、改善・充実に向けた取り組みが期待される点を整理し、取締役会に報告しました。

この報告を受け、取締役会の一層の機能強化と実効性向上に向けた課題を抽出し、改善・充実のための取り組みを決定いたしました。

3) 2022年度の取り組みの結果について

まず、2022年度の取り組み課題については、取締役会で以下のとおり評価いたしました。

課題) 取締役及び執行役員のスキルアップに向けた役員トレーニングの強化

結果) 取締役及び執行役員が期待される役割・責務を適切に果たすことができるよう、経営実務に必要な知識の習得や更新等の研鑽の機会を提供するため、外部講師による役員トレーニングを継続的に実施いたしました。

また、取締役及び執行役員のスキル・マトリックスを踏まえ、コンプライアンス、内部統制、リスク管理、環境マネジメントなどの重要会議を統轄する責任者を歴任させることで、実務においてサステナビリティ経営に関する知識・スキルを更新する実践的なトレーニングをスタートさせ、着実に運用の改善が進められています。

<2022年度の役員トレーニングメニュー>

- コーポレートガバナンス改革
- 気候関連情報の開示(TCFD)
- DX時代のデジタル・ガバナンス
- 投資家視点からの企業価値向上①・②
- 政策保有株式

4) 2022年度の評価結果の概要

取締役会評価委員会の報告を踏まえて取締役会で審議した結果、取締役会運営においては、執行役員会への大幅な権限移譲により、2030年、2050年を見据えた中長期のビジョンやマテリアリティに関する議論が進んだ結果、バックキャスト思考で新中期経営計画「JT-2025経営計画」の策定につなげることができました。取締役会の運営は継続的な改善を重ね実効性は概ね確保されていると評価しています。

一方で、中期経営計画「JT-2025経営計画」に記した”PBRの改善”を目指す具体的な戦略に関する議論は十分とは言えず、計画達成に向けた収益力の強化と経営の効率化について議論を深化させるべきとの建設的な意見がありました。

5) 2023年度の取締役会の実効性向上に向けた取り組み

上記の評価結果を踏まえ、2023年度は新中期経営計画「JT-2025経営計画」に沿って

中長期の経営戦略のブラッシュアップと資本コストを意識した効率経営の推進

に取り組んでいくことといたしました。この取り組みを通じて、取締役会における議論を充実させ、取締役会の実効性の一層の向上により中長期の経営戦略の実現及び企業価値の向上に努めて参ります。

以上